

五所川原立佞武多令和2年度の開催方針

令和2年4月16日

五所川原立佞武多運営委員会

名誉大会長 佐々木孝昌（五所川原市長）

大会長 山崎淳一（商工会議所会頭）

運営委員長 木村吉幸（観光協会会長）

五所川原夏祭りの今年の開催につきましては、これまで立佞武多運営の主催三団体の五所川原市、市観光協会そして商工会議所の三者を中心に協議を続けてきましたが、その結果 現時点ではその開催は非常に困難であり、残念ではありますが「従来のスタイルでの夏祭りの開催は中止する」との結論に達しました。

ただ、「今後 新型コロナウイルス感染が収束し、多くの皆様が集まっても安全が確保される状況になった場合は 柔軟に対応したイベントを開催したい」とも考えています。

これは我々の希望でもありますが、もし 今後開催できる状況が実現した際には、運営方法や運行スタイル さらに開催時期や期間を見直しして開催したいと思いますので、この方針に沿って慎重に検討を続けていきます。

現実に関催可能な期間としては今年の秋頃までになるでしょうが いずれの場合も それまでに感染が収束して参加者・観客・運営関係者の安全が確保されることが開催のための大前提となります。

このような方針をとるに至った理由についてお話いたします。

今、地域の企業や事業所の全てが新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けております。特に飲食店や宿泊業といった観光サービス業は、今だかつてない程の打撃を受けており、このままでは地域経済が破綻するのではないかと危惧しております。

しかし、新型コロナウイルスの感染が収束を迎え、市民が安心して外出できるようになった時こそ、地域経済の活力になる新たな支援策やイベントの開催が必要になるのではと感じており、その時の復興の旗印はやはり立佞武多であろうと思います。実現の可能性は小さいものであったとしても残しておきたい そう願っています。

五所川原の場合は 立佞武多の館があり大型立佞武多3体がいつでも出陣できる体制ができており、短期間での準備で立佞武多を活用したイベントを立ち上げることができます。これは五所川原だからできることであり我々の強みでもあります。例えば、コースの運行はできなくても広場に展示し囃子や踊りを見てもらうなど、市民の皆様を中心に楽しんでいただくことは可能です。

今後、関係する多くの方々にも大変ご迷惑がかかることとは思いますが、何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。